

\*エジプトは幼稚園から大学にいたるまで、原則としてすべての公立学校は無償であるとされています(憲法第 19 条)。ただし、実際は教科書代等の名目で学校種に関係なく必要経費が徴収されているようです。例えば 2022/23 年度の場合、公立小学校 3 年生で使用する「改訂版」教科書の費用として 345 エジプトポンド(約 2500 円/ 2022 年 9 月時点)を支払うよう教育省から周知されたということです(el-Balad オンライン版, 2022 年 9 月 25 日付)。

\*近年注目すべき教科書に関わる事柄として、教科書作成への民間企業の関わりが目立つようになってきています。日本では大手学習教材出版社が教科書を手がけることはしばしばありますが、エジプトでは比較的新しい流れであるといえるでしょう。例えば、最近、学習用教材で知られるサレーハ・ティルミーズ(「児童の武器」の意味、ブランドの親会社は現代アラブ協会)が教育省と協力し、アラビア語、英語、社会科、イスラームの「改訂版」教科書作成に参加していることを表明しました。

\*なお、エジプトでは、冒頭でも述べたように学校教育で教えられるようなカリキュラムを含んだ教材の国家管理は徹底しています。その範囲は日本でいう、いわゆる受験用参考書のような教材にまで適用されます。民間企業が学校外で販売し、使用されている学習用教材であっても、政府の定めるカリキュラムの内容を含んでいる場合は「外部教科書」とよばれ、発行のために教育省の認可を受ける必要があります(2025 年第 78 号省令規程 第 2 条)。もともと、先ほどのサレーハ・ティルミーズはこの「外部教科書」で著名な小学生向けのブランドでした(図)。省令では、外部教科書の選定基準として「その教科書が、同法が定める原則(\*注…無認可教科書の禁止、学習効果、社会通念に沿った内容、正確性など)に従って作成されていること」や「教科書に記載されたカリキュラムが国家のカリキュラムおよびエジプト社会の最高価値および原則と整合していること」のほか、「各書籍の表紙に、教育内容の知的財産権は教育省に帰属することを明記すること」など(同 第 3 条)をあげています。学校外で使用される教材であっても、政府の厳格な管理が及んでいることがわかります。

\*本展示のパネルで解説するエジプトの教科書制度の詳細および関連する教育政策の動向については、2025 年末公刊予定の(公財)教科書研究センター『海外教科書制度調査研究報告書(2025 年版)』を合わせてご覧ください。



図. 2026 年度版の算数「外部教科書」のサレーハ・ティルミーズ(小学校 3 年生用)。左上にはエジプト教育省の「許可済み」のマークがみえます。